



# The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

# 2006 7

## Bulletin

2006. 7. 1. 発行  
第24巻 第1号 通巻276号

(CLUB OFFICE)  
京都 Y M C A  
〒616-8502 京都市伏見区中津  
電話 (075) 231-4388

THE OFFICIAL CLUB OF THE EMER  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

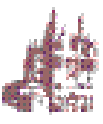
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1903

## クラブ主題 の関係! — 横並びの「和・輪・環」 —

国際主題	「愛をもって積極参加」	"Active Participation with Love"	IF 大門和彦 (会長)
アジア主題	「参画、そして感動を!」	"Participant and Inspiration"	AF 津島敏夫 (副会長)
西日本区主題	「一人はみんなのために、みんなは一人のために」	"One for all, all for one"	RD 末本隆三 (区委員長)
京都府主題	「百花繚乱 一京都部一」		DG 土橋雅二 (京都府支部長)
イベント主題	「ファミリーで参加しよう! ファイスダム 世界の愛が見えてくる」		530 400 祥子 (代表者)

会長 / 大門和彦  
副会長 / 津島敏夫  
区委員長 / 末本隆三  
京都府支部長 / 土橋雅二  
代表者 / 祥子



鉄は鉄

鉄は鉄によってとがれ、人はその友によってとがれる。

(箴言27章17節)



## 体育会系の "年" があってもいいじゃない —— 年齢差を感じさせない元気な一年 ——

会長 大門和彦

11年前にキャピタルクラブに入会したのですが、まさか私が「会長」を任せられるとは思っていませんでした。一昨年秋にお話を頂いた時には、まだまだ時間があり、だいぶ先の話だと思っていましたので、正直「ピン」ときませんでした。しかし、いよいよ「開幕」の時が来たようです。時が経つのは本当に早いものですね。今となっては腹は括っています。

私は週末になると少年野球の指導をしています。平日頃から子供達に「どうせやるなら力一杯やりなさい」と言っています。例えば「腹筋を50回」という練習メニューを与えると「50回を消化すればいいや」と思っている子供達が大半です。一生懸命の50回、いい加減な50回、同じ回数をするのに時間的にも、肉体的にも殆ど変わらないのです。ただ言われた事だけをやって消化しているだけなのです。

では、充実感や満足感はどこから得られるのでしょうか? 目的や目標に向かって一生懸命に取り組んだ結果でしか得られないと思います。だとしたら「会長」という大役を「どうせやるなら!」と、アグレッシブに取り組むことを誓い、その気持ちがクラブ全体に浸透し、目指すべきキャピタル

クラブのビジョンに向かって、メンバーの年齢差の価値観の違いを超越した、クラブ活動を目指していきたいと思えます。既存メンバーの方々を尊重し、多くの新メンバーを招聘することにより、今までとは少し異なった循環も期待できると思えます。

メンバー一人ひとりが、少し意識することでクラブ全体が今まで以上に活発な元気あるクラブになるでしょう。「人の心は、庭のようなものである。それは知的に耕されることもあれば、野放しにされることもある。そして、いずれの場合にも、かならず何かを生産する」(ジェームズ・アレン著) 何も手を加えなければ無益なものが生い茂ります。

主題に挙げさせて頂きました「との関係!」をご理解して頂き、クラブメンバーと共に、キャピタルクラブの庭を、個々の有益な思考で耕し、育み、素晴らしいものを収穫したいと切に願っています。この一年を今後のキャピタルを左右する年と位置づけ、2年後の25周年に向かって取組みたいと思っています。どうか、この一年よろしく願っています。

## 西日本区 7月 強調月間 Kick-off EMC-C

ゴールを目指して「大きくそして強く」キックしてください。クラブ一致団結して、会長をサポートしてください。ゴールは、努力することによっておのずと近づいてきます。常にクラブの"健康"を念頭に置いてください。  
井之上温代 EMC 事業主任

6 月 報 告	 会員比率	 即ポイント	 ニコニコ	 ファンド	 献血	 125周年
	在籍者数 29名	切手 0g	第一例会 7,000円	0円	献血成分累計 0cc	第一例会 3,944円
	広義会員 1名	現金 0円	第二例会 0円		成分累計 0名	第二例会 0円
	第一例会 21名	累計切手 11,330g	累計 204,000円	累計 938,080円	成分累計 0名	累計 68,790円
	第二例会 27名	累計現金 76,350円				
	メネット 6名	JWF 0円				
特別メネット 1名	JWF累計 0円					
出席率 100%	F F累計 27,000円					

出席第一・時間厳守・観望・奉仕・古切手収集

# 6月第一例会

2006年6月6日(火)  
於 ウェスティン都ホテル京都

## 遠藤周作と新渡戸稲造

連絡主事 神崎 清一



高橋 章様

日本大学国際関係学部の国際文化学科長であり、キャピタルの兄弟クラブである東京クラブのメンバーの高橋章氏をお迎えした例会で、氏はニューヨークで起きた「9・11」のテロについて「預言」をされておられていた方であり、お話も本当に軽妙洒落で、時間のたつのを忘れるほどの楽しいスピーチをいただきました。

特に、新渡戸稲造の「武士道とキリスト教」では、「キリスト教の教えをそれぞれの国民の道徳的発展の中で慣れ親しまれてきた言葉で表現すること」であり、それでこそ人々の心に根付くものであること。遠藤周作の表すキリスト教は弱いものと共に歩くイエス(神)であり、私たち日本人には理解しやすい文学であることに気づかされました。また「人を裁くことを正当化する宗教はいかなるものか」ということを考えさせられました。

そして私たちは悲しいかな、所詮「過ちを犯す人間の群れ」であり、「そのことを認めて神に委ねることが大切なこと」と再認識しました。感謝。

# 6月第二例会

2006年6月17日(土)  
於 ウェスティン都ホテル京都

## 引継例会

石村 吉宏

いよいよ最後となった竹田会長の挨拶は、この一年間を通じて話してこられた、自分の好きな船と海に因んだ話でした。

「西欧では、ハートのマークは愛の象徴、十字は誠実、碇のマーク(アンカー)は希望と信頼の象徴として大切に扱われている。リレーの最終走者がアンカーと呼ばれるのは、希望と信頼を託して繋げるからで、私も大門次期会長に希望と信頼を託して引き継ぎたい」と話されました。

クラブ在籍10年で竹田会長、大門次期会長が紹介され、ワイズ在籍35年の岡本さんに花束の贈呈がありました。

今期日本区アワードは、BF、EMCと岡本さんの長年にわたる「桃山こおろぎ」の活動に対して、マザーテレサ賞が贈呈されたことが発表されました。

山田隆之次々期会長による乾杯で食事の後、竹



田会長から今期パープル大賞事業委員長山田英樹さんに贈られました。パープル大賞はメンバー全員が納得した大きな拍手の中、山田英樹さんに贈られ

した。キャピタルクラブの歴史の中でも委員長以外では二人目ではないでしょうか。メネット会長、会長引継ぎの後、



ご苦労さまでした。竹田会長・竹田メネット会長

次期役員の紹介と大門会長の挨拶がありました。メンバー増強を第一に考え、例会に一人でも多くのメンバー候補を連れてきてもらう事、又、三役、委員長とメンバーが横一線でクラブ運営に取り組んでいきたいと述べられました。

柳直前会長による竹田会長へのねぎらいの言葉は、途中で延ばして下さいの合図が入っても、シーンとさせたり、笑わせたりと心温まるものでした。竹田会長夫妻を送り出し、今月末で退会される大石さんを送った後、竹田会長胸上げで例会は終わりました。3階のBAR ムーンライトで二次会がありました。



大門次期会長所信表明



山口さんへメネット会長引継



出席率 200%の皆さん



日本区アワード伝達 村田さん 岡本 都さん



ワイズ在籍35年 岡本さん



次期役員の皆さん



## 第9回 西日本区大会に参加して

6月10日(土)～11日(日)

交流委員長 仁科 保雄

名古屋国際会議場において西日本区大会が開催され、西日本区からは勿論の事、アフリカケニアから国際会長ご夫妻、浅見東日本区理事、と多彩なメンバーをお迎えして700余名のメン、メネットが参加し中部ならではの興味深い大会となった。西日本区全域の各会長が誇らしげにクラブ旗を掲げパナーセレモニーが行われた。地域の特色を出すため、いろいろな趣向を凝らす中部の方々の、マンネリ化を防ぐための様々な努力を各所で伺うことが出来ました。

各事業主任の年間事業報告、各部長の部活動報告そして西日本区の中で顕著な働きをされたクラブ、個人的にもワイズメンとして素晴らしい働きをされた方の表彰などが行われました。

次期に活躍をされる森本理事の交代式も佐野理事との間で静粛と荘厳さの中で執り行われ、佐野理事には一年のご苦労と森本新理事には期待を込めた大きな拍手が送られていました。

森本新理事スタッフが理事によって三役はじめ、部長、事業主任が紹介されました。期待と不安の入り混じった、役員たちの顔が紅潮していました。

この大会を成功に導かれ多くの中部のメンバーのご活躍のあったことを心より感謝を申し上げます。

最後になりましたが佐野文彦理事本当にご苦労様でした。そしてご出席いただいたキャピタルクラブの竹田会長、メン、メネットの皆様ご苦労様でした。

### 受賞

青年会員獲得賞

出席率90%以上達成優秀賞

使用済み切手換金上位賞 4位

BF 目標達成賞

マザーテレサ賞 岡本 都

(15年以上にわたって「桃山こおろぎ」を通して視覚障害者へのテープ雑誌を作り続けたことが評価された。今年度初めて創設された賞)



参加者 石倉 尚、岡本尚男、岡本 都、香山章治、大門和彦、竹田倫子、竹田博和、竹田悠佑、田中雅博、仁科節子、仁科保雄、堀 明美、堀 一行、村田深砂子、柳早知子、柳 慎司、山口弘子

## 第9回東日本区大会 6月3日(土)～4日(日) 東京クラブ最優秀クラブ賞受賞

岡本 尚男

今回ホストする仙台青葉城クラブには、親しくして下さっている方々も多い関係から、昨年から参加することをメネット共々楽しみにしていた。

大会会場の仙台国際センターは仙台駅から近くの所であった。一日目の開会式は、BENSON WABULE 国際会長夫妻、JANET SIEW アジア地域会長、村井善浩宮城県知事、梅原克彦仙台市長、山田公平日本 YMCA 同盟総主事、佐野文彦西日本区理事が参加していた。式の終りに、今年度鬼籍に入られたメンバーの冥福を祈った。例年キャピタルクラブ用のじゃがいもを作っていた十勝クラブの森田利徳さんの逝去は57歳の若さだけに心塞がる思いであった。

続いて東日本区アワーが始まった。理事挨拶、事業報告、決算報告、次年度の事業方針、予算案などがパワーポイントを縦横に駆使して手際よく説明された。浅見理事の挨拶は格調高く配慮に富んだ内容で堂々としていた。

クラブ表彰では DBC である東京クラブが最優秀クラブ賞という、最高の栄誉に輝いた。受賞理由は「長年継続している CS 活動、YMCA 支援活動、今年度発足した『東京ワイズユースの会』に見られる YIA への取り組み、各種献金への貢献、IBC、DBC 活動、会員増強活動等、ワイズ活動全般にわたり、他のクラブの模範となる優れたクラブ運営に対する総合的功績と75周年記念例会とその関連事業が高く評価」されたものであった。DBC の関係である私たちにとっても誇らしく思えるものであり、松田俊彦会長の優れたリーダーシップの賜物であった。



東京クラブの皆さんと  
(東京クラブ 庄司さん提供)

また、東京クラブ発足依頼初めての二度目の会長というおまけもついていました。

終了後チャーターバスで全員が、約一時間かけて松島に移動し夫々の宿舎で旅装を解き、晩餐会会場であるホテル松島大観荘に集まった。私たち

は同じ所に宿泊していた。

晩餐会は19時から21時まで続いた。参加者541名が一堂に会した。その内西日本区からは33名で、中でも浅見理事のホームクラブとDBC の関係である京都パレスクラブからの13名の参加者が際立っていた。オープニングの高校二年生浅野さんの津軽三味線は圧巻。力強い撥捌きとリズム感は若さを爆発させるようで、数々の優勝者であることが頷けるものであった。晩餐会終了後、別室で22時30分までフェローシップアワーが持たれ、東京クラブや東日本区の多くの皆さんと旧交を暖めた。

翌朝、早朝散歩に参加した。松島に纏わる歴史の説明を聞きながら心地よい潮風に身を委ねた。

昨夜の会場で聖日礼拝のあと、山浦玄嗣さんの「走れイエス」と題した記念講演があった。「ケセン語訳 新訳聖書」の著者であり開業医である。出身地の気仙の人たちに、理解しにくい日本語訳聖書を漢語の意味を解かり易く表現するために、ギリシャ語を学び東北のズーズー弁で喋ることでその土地の人たちにとって、本当の意味で聖書が身近になったのである。そして、イエスが言いたかった「神」の本当の意志が伝えられたのだと思った。私もクリスチャニティーを理解するために悪戦苦闘した体験から、この講演は圧巻であった。すくと私の心の中に入った。「このように言ってもらったら苦勞しなくてもよかったのに」という思いであった。この講演を聴いただけでも価値のある今回の大会であった。

その後行われた理事引継ぎは、熱海グローリークラブの竹内敏朗さんの司式により、東京グリーンクラブの浅見隆夫さんから横浜クラブの高田一彦さんに厳肅にバトンが渡された。

大会のお土産に頂いた「御言葉煎餅」には、聖書の言葉が一枚一枚に焼きつけられていた。1972年に盛岡に知的発達障害のある人たちの成長、発達、生活支援を目的に設立された「カナンの園」の授産施設「シャローム」で作られたものであった。仙台青葉城クラブの人たちのもてなしと配慮は、まさに神の意志であったような大会であった。

聖句の解説 先日新聞の調査でも多くの人が「親密になれるような友人がいない」と感じていることが記されていました。

身近に心を開いて話せる相手がいるなら、その人との関係を築き、心を開いて話せる友人は、不適切なことばや行動を、適切な配慮をもって見守り導いてくれます。

# 今年度事業方針

## 西日本区方針

理事 森本 榮三（大阪高槻）

理事主題 「一人はみんなのために、みんなは一人のために」  
— One for all, all for one —

副題 「ワイズメン・国際社会に恩返し」

私は阪神淡路大震災のあと、「LARA 物資」(Licensed Agencies for Relief in Asia) や「ユニセフ親善大使」に関するお話を聞く機会があり、それまで私の中にあった奉仕への考え方が変わりました。

終戦後、昨日まで戦い殺し合っていた相手国の子供や病人、老人の為に、食料や衣料、医薬品を送ってくれたアメリカをはじめとする連合国と、その国民の考えに理解できないものがあったのです。

LARA 物資(日本語訳「アジア救援公認団体」)は、第二次大戦のあと南北アメリカ13の NGO(宗教界、労働組合、ボーイスカウト等)が日本を救援しようとして活動したことで知られています。支援金額は当時のお金で400億円。昭和21年の日本の一般会計国家予算は1190億円でした。その LARA 物資について日本とアメリカでスムーズに援助が行われるようにと、日本から湯浅八郎氏(同志社大学総長・初代国際基督教大学学長)、阿部志郎氏ら数名が渡米された時の有名な話として、フィラデルフィア的女子学院を訪問した時、お昼時に誰も学生が食事をしていない。「どうして食べないのですか」と校長先生に聞いたら、「月に一度は食べたことにしてランチ代を募金箱に入れ、飢えに苦しんでいる日本の子供達を助けるために送るんだ」と言ったというのです。そして子供達は50セント、1ドルと箱の中に入れてくれたといひます。当時1ドルは360円から400円で、昭和21年の日本の大卒公務員の初任給が530円でした。

その当時のアメリカでは50セント、1ドルというのは少しひもいけど子供達にも払えた。日本に送られてきたそのお金は大きな価値あるお金だったので。正に今の日本と途上国と同じで、コーヒー一杯も飲めない100円でも、世界中には100円あれば家族4～5人が一日中豊かに食事を摂ることができる国が数多くあるのです。

私は YMCA、ワイズメンズクラブが行う総ての事業、奉仕活動の原点はここにあると思っています。国際社会で通用する感性豊でリーダーシップを持ったリーダーによる、次世代のリーダー育成が急務であると思っています。

ワイズメンズクラブのリーダーである皆様には、常に現場に軸足を置き、五感を働かせて部やクラブ事業を推進して頂きたいと願っています。

重点目標

会員増強「西日本区2000名に向けて」強力な推進チームを発足させる!!

国際統一事業「STOP HIV/AIDS」に取り組む西日本区ワイズメンズクラブを社会にアピールし、地域と共に一丸となってこの運動を推進する!!

クラブ独自の特徴ある奉仕活動の立ち上げと活動の確立!!

## 各事業について

### 1. YMCA サービス・ユース事業

橋崎 良治主任(姫路)

主題 YMCA 運動に Y's メンの情熱を!

YMCA 運動の次代リーダー ユース育成を!

1. 各部でのユースクラブの設立。ユースコンボケーション参加ユースの支援。
2. Y・Y フォーラムでの対話をとおして、パートナーとして共に歩むことの意義をさらに深める
3. YMCA 運動の理解と協働
4. ASF ..... 一人当たり \$ 1 100%を目標

### 2. 地域奉仕事業 (CS・TOF・FF)

石倉 尚主任(京都キャピタル)

主題 知ることから始めよう

1. 国際統一事業「STOP HIV/AIDS」のために用いられる TOF、FF の重要性が増しています。ご協力ください。
2. お年玉切手の使途を説明し地域の人たちにも募集に協力していただく。(マスメディアを通じてアピールする)
3. CS ..... 一人当たり ¥1,800 100%を目標
4. TOF ..... 一人当たり \$ 16 100%を目標
5. FF ..... 1ファミリー当たり ¥1,000 100%を目標

STOP HIV/AIDS のために

STOP HIV/AIDS のために

### 3. EMC事業

井之上温代主任(滋賀蒲生野)

主題 「自己の未来=ワイズの未来」

自己研鑽=ワイズの発展

クラブにとつての「健康体」は何かを考え、そのために、今何をすべきかを考える。

何事もポジティブに取組むことを訴える

1. 「西日本区2000人に向けて」を目標として、魅力あるクラブ、活力あるクラブ、体力のあるクラブ運営を目指す!!
2. ゲストお迎えできる魅力あるクラブ例会の開催
3. E ..... 1クラブの設立を目指します
4. MC ..... 前期末+89名 西日本区的全クラブが最低20名を超えるように知恵を出し合い、会長を先頭に会員増強に取り組みましょう。

### 4. ファンド事業 (BF・EF・JWF)

横田 憲子主任(大阪河内)

主題 幅広いワイズの心で、ファンドを大きくし、国際理解を深めよう。

1. BF・EF・JWF 事業の意義のPRと協力の推進
2. BF ..... 一人当たり \$ 25 (使用済み切手換金分を含む) 100%を目標
3. EF ..... 一人一回 \$ 100または一人一回 \$ 1,000を、何か記念することがあった時に献金して下さい。
4. JWF ... 個人、クラブ、部において記念することがあった時に献金してください。

### 5. 交流事業 (IBC・DBC・YEPP・STEP)

山野 進主任(広島)

主題 Y's をもっと楽しもう。

1. IBC・DBC の魅力を紹介し締結の促進
2. YEPP・STEP の魅力を紹介しユースに参加促進を PR

### 6. 広報事業

荒川 恭次主任(名古屋グランパス)

主題 もっとアピールしよう我らの活動を

1. 区として取組む事業の共通プレスリリースの作成と各クラブへの情報提供
2. 西日本区ホームページの活用とインターネットを利用したワイズ交流の拡大
3. 仮称「西日本区メーリングリスト」立上げに向けて情報委員会と協働

### 7. ネット事業

松田 洋子主任(大阪豊中)

主題 ファミリーで参加しよう、ワイズダム、世界の愛が見えてくる。

1. 国際・国内プロジェクトの推進
2. 各クラブのネット活動の推進
3. メンとの協働事業の推進
4. ネット、リーダー、留学生を交えての例会開催をご検討ください。

## 京都部方針

京都部部长 大槻 信二(京都センチュリー)

### 1. 部長主題

『百花繚乱 - 京都部 - 』

### 2. 活動方針

京都部は、西日本区において25%超のメンバーを擁する最大の部です。その中に所属する一人一人のメンバーが素晴らしいワイズメンとしての感性と高い能力を持っています。ここまでするには、諸先輩の素晴らしい能力と共に、クラブを超えた交流と、協働がありました。やもすると、最近ではクラブ内で完結しているメンバーを見ることがあります。たとえ素晴らしい感性と能力を持っていても、一人でできることは限られています。互いにその特性を影響し合い協働する中から、大きな力を発揮できるものと思います。その思いを主題としました。

ダイナミックなうねりを発信し続ける京都部であることを、原点として活動します。

### 3. 活動計画

Yサ・ユース事業 ユースクラブ設立可能性・下地の調査。  
ユース交流の推進  
京都 YMCA 行事への積極的参加とサポート  
全国リーダー研修会(10月京都で開催)の全面バックアップ  
地域奉仕事業 UGP STOP HIV/AIDS について、EMC・広報・ネットの各事業とのリンクとワイズデーにおける



プログラム企画  
環境問題への取組み継続と情報発信  
EMC事業 1クラブ3名の純増と500名体制の再構築。他クラブ訪問によるワイズメンズクラブ理解(交流)。広報事業とのリンクによるEMC  
ファンド事業 BF代表への積極的応募推進。BFの用途情報の提供によるBF推進。EF、JWFの啓蒙推進  
交流事業 部内各クラブのIBC・DBC交流状況を、広報とリンクして他クラブや外部へPR。部内各クラブ間での交流促進  
韓国釜山で開催の国際大会の機会を利用してのIBC交流の活発化が予想される中、その事例等の把握・広報  
広報事業 各事業活動とのリンクによるワイズ活動のアピール。各クラブに、情報発信の専任窓口担当者設置の可能性検討  
メネット事業 部メネットアワーの開催。メネット同士のクラブを超えたネットワークから部独自のメネット共同事業等を生み出せる下地作り。区メネット事業への協力

#### 4. 部行事予定

2006. 9. 10 第11回京都部部会  
2006. 10. 全国リーダー研修会サポート  
2006. 11. ワイズデー・街頭募金・オータムフェスタ  
学園祭・24h マラソン  
2007. 1. チャリティーボウリング  
2007. 4. 夜桜フェスタ  
2007. 5. 第3回チャリティーラン

### 京都キャピタルクラブ事業方針

#### 1. 会長方針「との関係! - 横並びの『和・輪・環』」 ワイズメンズクラブとYMCAとの理解を深める。

例会運営の創意工夫  
クラブメンバーの増強  
IBC・DBC締結への模索

大門会長、瀬本副会長、橋本副会長、山田(英)書記、香山会計

#### 2. YMCA サービス・ASF 事業委員会

委員長 山口 雅也・副委員長 岡本 尚男  
委員 内廣 健、村田深砂子、豊田 貴志  
担当三役 瀬本 純夫

事業方針 - YMCA行事へ行ってみよう -

\*YMCA行事の参加を通じてクラブの親睦を深める。

\*複数年度計画の事業の模索

事業計画

6月25日 リトセン夏の準備ワーク / 8月4日 平和の集い / 9月3日 リトセン秋の準備ワーク / 時期未定 留学生ホームピジット / 10月7日 ~ 全国リーダー研修会 / 10月29日 専門学校学園祭 / 11月5日 国際協力街頭募金 / 11月12日 リトセンオータムフェスタ / 12月15日 会員クリスマス / 2月未定 YMCA創立118年記念会員集会 / 2月未定 チャリティーコンサート / 2月24日 ~ 25日 車椅子駅伝 / 3月11日 卒業リーダー祝会 / 4月未定 リトセン夜桜フェスタ / 5月未定 障がい児のためのチャリティーラン / 期日未定 YMCAサービスアワー(例会) ~ 4月の強化月間 ~ / 毎通常例会 YMCA周年募金

#### 3. 地域奉仕事業委員会

委員長 田中 雅博・副委員長 山田 隆之  
委員 大山 孜郎、金原 弘明  
担当三役 香山 章治

事業方針

1. 会長主題の「との関係!」を基本とし、サポート先への理解をより一層深める。
2. 地域奉仕活動を「広報活動」「EMC活動」につなげ、会員増強に積極的に取り組む。
3. 今後の地域奉仕活動のあり方を模索し、新しい事業についても検討する。
4. 西日本区地域奉仕事業主任を全面的にサポートする。

事業計画

1. 「ふれあい広場」への協力
2. 「ベテスダまつり」への参加・協力
3. 「京都部CSチャリティーボウリング大会」への参加
4. 献血のアピール
5. TOF・FFの実施
6. CSポイント(年賀切手)の収集
7. 「西日本区地域奉仕事業主任」へのサポート  
《2006年7月22日(土)西日本区地域奉仕事業研修会》
8. これからの地域奉仕活動のあり方の検討

#### 4. EMC 事業委員会

委員長 石倉 尚・副委員長 堀 一行  
委員 メンバー全員・担当三役 香山 章治

事業方針

- ・会長主題の「との関係!」を基本にメンバーシップを高める。
- ・新会員確保とノンドロップのため全会員が努力する。

事業計画

- ・EMC委員会とメンバーが《ひとつ》となり会員間のコミュニケーションを計る。
- ・会員増強の目標を5名とし全会員が情報提供する。
- ・井之上事業主任の方針にしたがい「クラブにとっての健康体とは何か」を模索する。
- ・例会出席率200%を目標とし個々の出席率に注視しノンドロップを目指す。

#### 5. ファンド事業委員会

委員長 八木 悠祐・副委員長 柳 慎司  
委員 岡村 直人・担当三役 山田 英樹

事業方針(キャピタルファンドトライアングル)

1. キャピタルクラブを語る場の提供(Yサ・EMC)
2. 全員参加型ウエルネスイベントの企画
3. BFへの全面的協力

事業計画

1. ワイズポテト・ワイズかぼちゃの販売
2. リトセン・サバエでのイベント企画
3. ファンドスポーツ大会の開催(野球・ボウリング・卓球・他)
4. カタログフリーマーケットの実施
5. イベントごとの物品販売(年越し蕎麦・お花見団子・お茶漬・他)
6. BF一人3000ptの達成(古切手回収BOXの復活)

#### 6. 交流事業委員会

委員長 森 常夫・副委員長 仁科 保雄  
委員 菅原 縦一・担当三役 山田 英樹

事業方針

- ・会長方針のキャピタルと東京クラブ、キャピタルと釜山ベゼルクラブを十分に検討
- ・東京クラブを招くのに最高のもてなしをする。

事業計画

- ・8月3、4、5、6日国際大会の時間、宿泊、交通の便など十分に検討する
- ・東京クラブの来ていただく時期は4月頃がベストかと思えます。

#### 7. ドライバー事業委員会

委員長 勝山廣一郎・副委員長 岡島 脩雄  
委員 石村 吉宏・担当三役 橋本 眞一

事業方針

1. 会長方針の『との関係!』にそった例会運営を行う。

事業計画

1. メンバーとメンバーとの親睦を深め、楽しい例会を運営して行く。
2. 西日本区強調月間に添って、例会運営を計る。  
(Yサリーダー、留学生、国際大会、MC、TOF、メネット会、BF等々...)各事業委員会に例会担当(主要部)を依頼する。
3. メンバー各位よりいろいろな分野からの講師をご紹介頂き、例会に生かして行く。
4. 新しい試み(例会時に適宜行う)  
・讃美歌 ・ワイズソング(英語バージョン)  
・YMCAの歌(1~3番)

#### 8. 広報・プリテン事業委員会

委員長 吉井 崇人・副委員長 竹田 博和  
担当三役 大門 和彦

事業方針

1. 会長方針に基づいた紙面作りを心掛ける。
2. 読みたくなるプリテンを目指す。

事業計画

1. "人生の名シーン"を連載する。
2. 4ページを基本として月初発行を目指す。

#### 9. メネット会

委員長 山口 弘子  
スタッフ 竹田 倫子、正子・ダルマパーラン、山田まゆみ  
担当三役 大門会長

事業方針

- ・会長の主題「との関係!」に沿ってメンバーの活動を理解し、参加して出来ることを手伝う。メネット同志も親交を深め、楽しめるメネット会とする。

## インドネシア大地震緊急支援街頭募金

6月18日

インドネシア・ジョグジャカルタの大地震の緊急支援募金が京都 YMCA 主催で三條河原町・四條河原町・三條大橋・四條大橋で行われました。

YMCA 全体で122,694円の募金がありました。17日の引継例会でも募金活動に参加できないメンバーから14,835円が別に集められました。(吉井 崇人)

参加者 石倉、竹田、森

## リトセン準備ワーク

山口 雅也

6月25日(日)降水確率50~80%の天気予報の中、恒例のリトリートセンターの準備ワークが開催されました。7月からYMCAのプログラムがスタートするとのことで小雨降る中、メン14名、メネット4名、コメント4名の計22名の参加をいただきました。



ワークの担当エリアは昨年と同じく宿泊ロッジ周りの草刈、ロッジ内の清掃、網戸の修繕など多岐にわたるものでした。

ワークが始まり、メネットの方たちがロッジ内清掃、メンが草刈を担当し、午後からは雨がきつくなるとのこともあり、段取りよく午前中にほぼ外回りが終わり、手の空いた者でロッジの窓拭きなどもかかっていたいただきました。

お昼はグローバルクラブの方が、カレーライス・サラダを用意してくださり、昼食後は後片付けをして13時過ぎにはすべて終了し解散となりました。

今回がYMCA サービス委員会の初仕事ということもあり、準備をしていく中で、やはりたくさんの方の参加とご協力がないと各事業が上手く進まないことがわかりました。ワークというと「奉仕」や、「義務感」みたいなものを感じがちですが、例会などのキャピタルの行事の一つと考えて「クラブの親睦」を図っていききたいと思います。

実際、あまり体を動かすことも普段ありませんので、草刈はきつかったですが、休憩時にビール片手にワイワイ話していると結構楽しいものでした。次回はまたたくさんのご参加をお待ちしています。今年1年、Yサ活動にも是非ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

参加者 石倉・石村・内廣・神崎・大門・竹田・田中・森・柳・柳メネット・山口・山口コメント・山田隆之・山田英樹・山田メネット・山田コメント・正子ダルマパーラン・山口弘子

## HAPPY BIRTHDAY

### メンバー

神崎 清一 7. 8

### メネット

内廣 嘉子 7. 22 柳 早知子 7. 29

### コメント

田中 愛純 7. 3 山田 隆太 7. 19

## 7月・8月予定抄

7月4日(火) 第1例会 総会  
 7月18日(火) 第2例会 部長公式訪問  
 7月25日(火) 役員会  
 8月1日(火) 第1例会  
 8月3~6日 国際大会(韓国・プサン)  
 8月4日(金) 平和の集い  
 8月19日(土) 納涼例会  
 8月22日(火) 役員会

## 第15回 役員会議事録

2006年6月20日(火)19 00~21 00  
 ウェスティン都ホテル京都

### <報告事項>

#### 京都部

- ・インドネシア・ジャワ島中部地震緊急支援街頭募金 6月18日(日)午後1時~午後3時~
- ・京都部評議会 6月18日(日)

#### 三役会

- ・会計清算

### <各事業委員会報告>

- ・Yサ・ユース 委員会報告・事業報告
- ・地域奉仕 委員会報告・事業報告
- ・ドライバー 委員会報告・事業報告
- ・プリテン 委員会報告・事業報告
- ・ファンド 委員会報告・事業報告
- ・交流 委員会報告・事業報告
- ・EMC 委員会報告・事業報告
- ・メネット 委員会報告・事業報告

### <審議事項>

- ・事業報告 承認
- ・会計報告 承認

## 第4回準備役員会議事録

2006年6月20日(火)19 00~21 00  
 ウェスティン都ホテル京都 鳳凰の間

### <報告事項>

#### 西日本区

- ・西日本区役員会議案 区費値上げの件
- ・地域奉仕事業主任 地域奉仕事業研修会 7月22日(ばるるプラザ)

#### 京都部

- ・京都部会 9月10日(日)びわこホテル
- ・CSチャリティーボウリング大会 2007年1月21日
- ・2007年京都部会案内、部長公式訪問 7月18日

#### 三役

- ・クラブHP アルバム部分のみリンク先を変更
- ・納涼合同例会 8月19日(土)会場変更に関して審議事項
- ・メネット会 新スタッフ加入 竹田倫子、山田まゆみ、正子・ダルマパーラン

- ・第一回メネットスタッフ会議(7月13日昼予定)大門出席

#### YMCA

- ・リトセン夏の準備ワーク 6月25日(日)9 30
- ・サバエワークの協力 7月2日(日) 9日(日)
- ・病気の子供たちのキャンプ 8月19日(土)~20日(日) 「青い空と白い雲のキャンプ」
- ・全国リーダー研修会:10月7日(土)~9日(月・祝) 詳細未定
- ・ふれあい広場 9月24日(日)

### <各事業委員会報告>

- ・各事業委員会 事業計画案及び予算案の発表

### <審議事項>

- ・事業計画案
- ・事業委員会予算案 主査活動費に関して修正後
- ・予算案 主査活動費に関して修正後
- ・メネット例会実施の件 後期の例会で行う 会長報告
- ・独身会員のHAの件 会長報告
- ・納涼例会の件 大阪センテナリアルクラブ 来訪予定25名 招月庵 和順会館の「華頂」に変更 会長報告

### <その他>

- ・ゴルフ同好会立上げに関する提案(公式な同好会として)7月17日に第一回のコンペを開催する予定
- ・年間スケジュール 変更多数につき修正

承認  
承認  
承認

